

「ビジネスプランを考えるって面白い!」 「高校生Ring」に挑戦して生徒が成長した

市原八幡高校 (千葉・県立)

テーマ ▶ 「高校生Ring」で視野を広げる

目的 ▶ グローカル人材の育成

課題

グローバル人材の育成を
目指し、生徒の視野を
広げるには?

活用

「スタディサプリENGLISH」
「高校生Ring」への挑戦で
生徒が積極的に動き始めた

スタディサプリ活用法

● 「高校生Ring」

4月 ビジネスプラン作成



「Ring NOTE」を参考
しながらプランを作成

10月 プラン完成



11月中旬
1次審査
学校(クラス)内審査
クラス数×1組

11月 振り返り



11月中旬～
12月初旬
2次審査
リクルート内審査
30組選出

1月中旬～1月下旬
3次審査
リクルート内審査
ファイナリスト
5組選出

2月中旬
最終審査
公開審査会(東京)
グランプリ選出

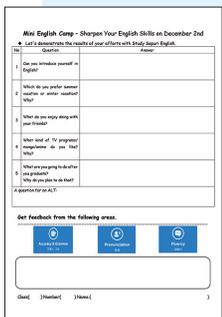
審査結果にかかわらず、
周囲の人の意見を
基にプランを修正し、
振り返る。



2月10日、今回はセミファイナルには残らなかったが、協力いただいた市原市の企業10社16名の社長などを招き、2年生が考案したビジネスプランについてアドバイスを頂いた。1年生も先輩の発表を見学し、来年度挑戦の意欲を高めたという。

● 「スタディサプリENGLISH」

12月 「Mini English Camp」



生徒とALT(外国語指導助手)がお互いにインタビューをしながらインプットとアウトプットを行い、最後に英検®準2級～準1級のリスニングに取り組み、「スタディサプリ・ポートフォリオ」に記入する。

でもやってみよう! 挑戦しよう!」と校長が提唱したのが、グローバル人材の育成です。そこで24年度から、2年生の英語科では「スタディサプリENGLISH」を、2年生の総合的な探究の時間では「高校生Ring」を導入したところ、学校内の雰囲気「挑戦って面白い!」に変わってきました。これは、今までにない大きな変化です」と教務主任の石山泰吉先生。

活用は教員の自由。意見も言いやすい風土で、「スタディサプリENGLISH」の導入も、実は2年生英語科の宮本正枝先生が「グローバル人材の育成を目指すなら!」と手を挙げて始めたそうです。「最初は希望者を想定していましたが、基礎リスニング講座がわかりやすく、ディクテーションやシャドーイングに挑戦する

「当校は大学や専門学校への進学が大多数を占めますが、就職も一定数おり、そうした生徒の視野を広げるために、「何でもやってみよう! 挑戦しよう!」と校長が提唱したのが、グローバル人材の育成です。そこで24年度から、2年生の英語科では「スタディサプリENGLISH」を、2年生の総合的な探究の時間では「高校生Ring」を導入したところ、学校内の雰囲気「挑戦って面白い!」に変わってきました。これは、今までにない大きな変化です」と教務主任の石山泰吉先生。

同校の「スタディサプリ」高校講座導入は、コロナ禍の2020年。現在は、学び直しや基礎学力定着のために課題配信を行うほか、選択制の2・3年生には、学力に合わせた多様な使い方をしている。「授業前にスタディサプリの講義動画を視聴させ、授業→課題配信を行っている先生もいますし、私も、試験前に復習すべき講義動画範囲を伝えたり、スタサプの過去問を活用して受験指導しています」と3年生総務担当の畔藤正也先生。

ことで生徒のやる気が引き出せたので、授業や宿題配信にも活用しました。12月には、生徒とALTがお互いにインタビューを行う「Mini English Camp」を実施。生徒たちが楽しんでいました」と宮本先生。2年生の「高校生Ring」参加も、進路指導部の田久保明宏先生が提案したという。「興味深い学びだったのでリクルートの担当者に相談すると、商工会議所がハブになつてくださるとのこと、すぐに校長と伺い、企業の方々となりがりができました。仕事の調べ学習ではなく、自分の困り事からビジネスプランを考えるのは初めてでしたが、食物アレルギーをもつ生徒が、「自動販売機にアレルギー表示がある」と、アレルギーの人は助かるし買やすい」と提案するなど、次々とプランが出て驚きました。地元企業の社長など16名から助言を頂くことができ、生徒たちが「挑戦って面白い!」と日々成長する姿を見て、教員も成長しました。素晴らしい体験ができました」と田久保先生。今後も「高校生Ring」への参加は続けていくという。

「興味深い学びだったのでリクルートの担当者に相談すると、商工会議所がハブになつてくださるとのこと、すぐに校長と伺い、企業の方々となりがりができました。仕事の調べ学習ではなく、自分の困り事からビジネスプランを考えるのは初めてでしたが、食物アレルギーをもつ生徒が、「自動販売機にアレルギー表示がある」と、アレルギーの人は助かるし買やすい」と提案するなど、次々とプランが出て驚きました。地元企業の社長など16名から助言を頂くことができ、生徒たちが「挑戦って面白い!」と日々成長する姿を見て、教員も成長しました。素晴らしい体験ができました」と田久保先生。今後も「高校生Ring」への参加は続けていくという。



左から
2年生英語科
宮本正枝先生(英語)
教務主任
石山泰吉先生(数学)
進路指導部
田久保明宏先生(国語)
3年生総務担当
あびる
畔藤正也先生(理科)

School Data

創立1983年/普通科(共学) 生徒数614人(男子282人、女子332人)進路状況(2024年3月実績)大学118人、短大11人、専門学校等78人、就職9人、その他6人